

国交省

コスト構造改善プログラム策定

3者会議の推進など

国土交通省は1日、08年度からの5カ年の「公共事業コスト構造改善プログラム」を策定した。発注者・設計者・施工者の3者会議の推進などで建設生産システムの改善を図り、最終の12年度末には、07年度比15%の総合コスト改善率の達成を目指すとしている。

07年度比15%達成目指す

プログラムではコスト

構造を改善するため、合意形成・協議手続きの改善や事業の重点化・集中化、用地補償の円滑化などを掲げるとともに、計画・設計・施工の見直し、民間技術の積極的な活用、社会的コストの低減、調達の最適化などを盛り

込んだ。調達の最適化に関しては、CAALS/ECの活用や、電子情報の共通化による建設工事の生産性向上、総合評価方式の入札の促進、多様な発注方式の活用、CM(コンストラクション・マネジメント)方式の導入・拡大、

受発注者のパートナーシップの構築による建設生産システムの生産性向上、公共工事の品質確保の促進、ユニットプライス型積算方式や市場単価方式の適用拡大などを掲げた。土木工事では3者会議を積極的に推進して設計思想の効率的な伝達

を図る。

これまでに打ち出してきたさまざまな低価格入札対策の拡充検討も盛り込んだほか、技能者や下請業者などの技術力を適

切に評価して技能者の育成を推進することも打ち出した。